

# 平成17年3月10日

## 会議録 審査内容

### ◇会議録

- 1 日 時 平成17年3月10日  
開会 11時46分 閉会 11時57分
- 2 場 所 幕別町役場5階会議室
- 3 出席委員 7名  
委員長 千葉 幹雄 副委員長 前川 敏春  
委員 中橋 友子 小田 良一 前川 雅志 杉山 晴夫 坂本 偉  
議長 本保証喜
- 4 傍聴者  
1 豊島善江 3 野原恵子
- 5 事務局  
局長 高橋平明 課長 平田正一 係長 澤部紀博
- 6 審査事件  
議案第28号 幕別町公共下水道条例の一部を改正する条例
- 7 審査結果  
原案を「可」と決した。

### 7 審査内容 (下記のとおり)

## ◇審査内容

(11:46 開会)

○委員長（千葉幹雄） 大変ご苦労さまでございます。

ただいまから産業建設常任委員会を開きます。

付託されました議案第28号、幕別町公共下水道条例の一部を改正する条例を議題といたします。

先般の委員会で質疑が終了しておりますので、さっそく討論に入っていきたいというふうに思いますけれども、よろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○委員長（千葉幹雄） それでは、議案第28号、原案に反対の者からの討論を許します。

中橋委員。

○委員（中橋友子） 原案に反対の討論を行わせていただきます。

先般の委員会で提案されました今回の下水道料金15%の引き上げの根拠につきまして、これまでの下水道事業の取り組み、8年間料金を据え置いてきたこと、あるいは料金そのものも管内の中で低料金で押えてきたこと、それから普及率の向上に努力を図られてきたこと。これらは認めるところであり、そういう現状の中での値上げ案だということを、まず押えて上で討論といたします。

そういう状況だけを言えば賛成ということになりますが、しかし、今回の提案については、公共料金の負担ということを考えれば、昨年のごみの有料化に続いて、町民は1年以内に二つの大きな引き上げがかぶせられるということがひとつあります。

もう一つは、町民の置かれている現状というのは、今、賃金が約6年間で、毎年1%から2%の割合で、連続して引き下げられてきていること。さらに、今、国会で提案されている定率減税の引き下げなどを入れますと、さらに4人家族で年間20万の負担が予定されていること。

これらを考えると、一番身近な地方自治の料金というのは極力抑えて、町民の負担をかぶせてはならないという考えをもっております。

そこで、努力してきたその中でも、不足額を生じるそういう現状の提案で、ではどうするのかということではありますが、私としましては、やはりここは他の町村と同じように、これまでも一般会計からの繰入れを行ってきたところではありますが、先日係の報告でありますと、音更町が平成16年度8億6,000万の繰入れ、芽室町が4億5,000万の繰入れ、幕別町が3億9,800万ということでありました。

大きな繰入れでありますけれども、しかし、こういった近隣の負担からみて、もうちょっと頑張れるかなという考えが一つです。

それから、15%の引き上げの根拠、これも不足額から算出されたものではありませんでしたが、説明の中で、国の使用料の一定の基準を国の基準より超えていないと、交付税の支給が減らされるということでありました。示された資料は、毎年国の基準が1円ずつ上がっていく。10年間で10円、これは推測であります、これまでの結果でいったらそうなっています。

今回の15%というのは、130円からみると約20円ということになりますので、もっと引き上げ幅を抑えることができるのではないかと。それでも交付税を入れることは可能ではないかという考えに立ちまして、今後の努力を求めて反対といたします。

○委員長（千葉幹雄） 続きまして、賛成の方の杉山委員。

○委員（杉山晴夫） 私は本案に対しまして、賛成の立場で討論を行いたいと思います。

公共料金の引き上げを行うということは、町民の方々に応分のご負担を願うということでございますので、少なれば少ないほど町民の方はいいわけでございますが、しかしながら、現在のこの下水料の料金

体系を見まするに、平成15年度の決算では、一般会計から約7億5,300万円もの高額な繰入れを行っているわけでございます。

7億5,300万円もの高額があれば、一般会計としては補助事業によっては10倍もの事業ができることになるわけでございます。

今回、約15%のアップということでございますが、これで使用料が約3,200万円程度増額になるというふうにお聞きしたところでございます。

また、この間の事務局からのご説明では、国からの高資本対策費として約8,000万円が一般会計交付金として交付税措置されるとのことでありました。合わせて1億1,200万円の増額が見込まれるわけでございます。しかしながら、この増額を図ったとしても、さらに一般会計からの繰入れもなお必要になってくるわけでございます。

先刻の町使用料審議会の答申もありましたとおり、引き上げという答申でございますので、私はこの答申を尊重すべきであろうと思って賛成の討論といたします。

○委員長（千葉幹雄） ほかにございませんか。

坂本委員。

○委員（坂本偉） 私は、議案第28号に対し、賛成の立場で討論を行います。

今の杉山委員とダブるところがありますが、先の使用料等の審議会で十分に検討なされて本委員会に提案されたということでございます。

そんな中で、下水道会計を見ると、今、杉山委員が申しましたとおり、15年度の決算で、歳出歳入で15億円の予算の中で7億5,300万ということで、総体の半分50%近くを一般会計から繰入れをしているということで、また、16年度におきましても総体の予算が20億9,800万、また、先般補正が出されて一般会計からの繰入れが6億9,900万、また、本年度予算も出ておりますけど、総体の予算の中で16億5,000万、そのうちの一般会計からの繰入れが5億700万ということで、その予算の中で、一般会計からの繰入れが50%、また30%ということで、私はこの下水道会計については、ある程度利用料を納めていただいて、住民の受益と負担のバランスを考えた場合、委譲といたらないのか、やはり利用料である程度賄っていくのが、特別会計の私は趣旨でないかと思っております。

そんな中、本町の下水道の整備については、管内町村をみても上位のランクにあるわけでございます。そんな中、整備も進んできております。

また、この改正に当たっては、平成9年の4月1日ということで、当時からも札内地域、また本町地域も大分様変わりしているのではなかろうかと思えます。

そんな中、基盤の整備についても明野の浄化センターについても、この間説明を受けましたけど、今後、修理代もかかってくるのでないかと。また、札内地域につきましても、当時の平成9年から見たら、人口もかなり増えてきております。そんな中、宅地開発が北栄町とか文京町で進められております。

そういうことを鑑みたときには、やはり今回の15%の値上げでございます。そんな中で3,200万円ということで、昨年の利用料を見た場合には2億2,000万円ということで、確かに15%は町民に対してはこの程度の値上げをご理解いただくのが、私は当然でないかと思えます。

そういうことで、私は賛成の立場で討論といたします。

○委員長（千葉幹雄） ほかにございませんか。

（なしの声あり）

○委員長（千葉幹雄） ありません。なければ討論を終結したいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○委員長（千葉幹雄） それでは、討論を終結いたしましたので、ただちに採決をしたいと思えます。  
議案第28号、幕別町公共下水道条例の一部を改正する条例、原案を可とする人の起立を求めます。  
（賛成者起立）

○委員長（千葉幹雄） 起立多数であります。  
よって、議案第28号、幕別町公共下水道条例の一部を改正する条例は、可と決しました。  
それでは、付託されました議案については、終了させていただきます。  
次に、その他でありますけれども、何か皆さん方からございますか。

（なしの声あり）

○委員長（千葉幹雄） なければ、今日の会議を終了したいというふうに思えますけれども、よろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○委員長（千葉幹雄） それでは、以上をもちまして、産業建設常任委員会を終了いたします。

11 : 57 閉会